

苫東環境コモンズの  
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

# 勇払原野の SPIRIT

## コモンズの視線

先日、久々に柏原フットパスの核心部に行ってみました。そう、かつてヒグマの「とらじろう」が往来していたあたりです。うーん、やっぱり勇払原野のもう一つの雰囲気は漂う！しかしあまり知られてはいない別天地ではあります。小さな椅子を一つ持ち込んで、すこし長い時間たたくだけでも生き返る気がします。採草時期に仕事の邪魔をしなれば、アクセスは基本OK。コモンズ資源「ハスカップ」と並ぶ、勇払原野のもう一つの宝です。

さて、ハスカップは今年成熟が早く、当NPO恒例のハスカップ摘みはピークを大きく過ぎてしまいましたが、それでもほんの2、3時間、楽しんでもらったようです。ハスカップは5月のフォーラムに続いて何かと話題に上ることが多くなり今後の展開が楽しみです。(事務局：草苺)

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/>

## TOPIC 1

### 初夏に薪を扱う

大島山林を定期的に間伐していけば必ず生産されるのが枯れ木を含む多くの薪。25年の冬は8軒分の薪ができ、そのうちの6軒分は新たにできた薪小屋に格納し、残り2軒分は6月14日、江別と新札幌の会員宅に無事輸送することができました。

薪小屋に保管された薪は現在屋根の下で乾燥中ですが、秋口までには地域通貨「コモン」を利用したメンバー等が現地渡して運搬される予定。おそらく、空になった薪小屋は、再び冬の山仕事の「やる気」を喚起するのではないのでしょうか。

↓6/14朝の薪配達前の積み込み風景



## TOPIC 2

### NPOの森づくり研修@白老

森や林を育てながら利用もするというのは、手ごたえのある応用問題です。そのうえ、決まったマニュアルが用意されているのではなく、現場ごとに樹木の種類も育ち具合も、そしてその扱い方も違っているから、適切な手法をできるだけ早くどう自分のものにするかが問われます。ただ問われていることに気づかないまま漫然と作業を繰り返すのも、山仕事の実情かもしれません。

当NPOの場合は、とにかく作業の安全第一がまず維持できれば、あとは等閑に付す、そんな感じで進んでいます。実は自分で自覚的な努力なくして技術も

なにも身につかないことは次第に分かってくるはず。

特に森の見方、森づくりの方法となるとなるとおさらです。これまた所有者や責任ある立場の者に集約され、作業者はつい作業者の立場にとどまりがち。長い目で森を見ることは難しいものです。今回、研修を白老で実施するにあたり、午前「萩の里」の森林公園で、始まったばかりの森づくりの合意形成と悩みながらの実験の様子を、新岡幸一さんに伺いました。

午後は、これまで17年間自分の山として手入れを実践してこられた堀尾博義さんの「仙人の森」にお邪魔しました。丁寧に美しい森に仕立てた堀尾さんの見立てと技術、実践力はさすがです。もっとも気持ちの良いスポットの見極めや美的センスは共感するところが多く、参考となるヒントも多々ありました。

↓堀尾さんの森づくりを聞く



この日の最後は大西林業というプロの炭焼きの現場を中心に見せてもらいました。研修のとどめは夜の懇親会@民宿「500マイル」。翌朝は臨時運営委員会。

↓民宿の露天風呂は太平洋を見下ろす位置にある



**TOPIC 3****市民大学講座の一行がケアセンターに**

まちづくり市民グループ「ゆうべあ」が事務局を務める市民大学講座で、今年 2 弾目が当事務局にあてがわれました。参加者は 17 名。5 月 21 日には、商工関係者に呼ばれ朝会で、5 月 31 日にはコモンズフォーラムで苫小牧市民の前で、同じく NPO 活動の紹介をしたので、今年は急に地元向けの発信が続いている格好になります。

会場は雑木林ケアセンターで、10 時から開始。講師・草薙が用意したレジメのタイトルは『環境コモンズ&共生する町内林の提案』～勇払原野の風土を共有するコモンズの視点～というもので、里山の保育など経験もイメージも持たない参加者のために、NPO 会員が講座の前から、周囲で所要の刈り払い作業をいっしょにおこなってやってもらいました。

刈り払われたばかりのフットパスをさっそく歩いてもらいながら、当然のように意見交換は弾みます。この土地に愛着を持つ向学心に燃えた中高年が相手だからこそ、質疑の内容は極めて具体的で、こちらも勉強になります。また、久々の出会いも多く、古いつながりも復活するというとても意義深い機会になりました。

**TOPIC 4****フットパス、草ボーボーの猛反省**

↑一番草収穫直後の柏原フットパス

「道に迷いましたがなんとか行ってきました」。柏原フットパスを利用した方からの報告です。今年は 5 月から 6 月にかけて、調査やフォーラム、研修と続いたために、ちょうどシーズン初めのサインの補修や刈り払いが遅れ気味で推移していたのです。申し訳なし。

それでも、採草農家には土地所有者を通じて、農道の刈り払いも早々にしてくれるよう頼んでいたのか

らうじて歩く道が全ルートにおよんで草ボーボーという状態だけは免れました。

そもそも、田園型のフットパスというのは、田園、ここでは柏原の採草農家が、「採草地として積極的に（整頓され）利用している」ことが大前提で展開されるものです。柏原の採草地は農協組合員などが借地料を払って年 1、2 回刈るもののように、残念ながら日常的に近隣の農家がケアしているわけではありません。これもちょっと災いしました。

いずれにしろ、フットパスを開設した以上、もっと親身になったケアが必要だったと猛反省し、7 月 12 日、遅ればせながらやや挽回。大島山林もかろうじて 7 月 21 に目途がつけました。

**今年 5 月からの活動の報告**

各行事末尾の数字は参加者数

- 5/3 sat 薪割り 薪積み 9
- 5/4 sun ニュースレター11号発行・送付
- 5/10 sat 薪割り、薪積み 7
- 5/12 mon 第10回理事会@開発協会 17:30～
- 5/17 sat ハスカップ調査① 集合場所；ハスカップサンクチュアリ 昼から、山菜採集へ 3
- 5/25sun 春の祝祭+大島山林の危険枝整理作業@大島山林 10
- 5/31 sat 環境コモンズフォーラム@苫小牧サンガーデン 60
- 6/7 sat (午前) ハスカップ調査② (午後) 看板&サイン直し、トイレ移設ほか 3
- 6/14 sat 薪運搬&分譲(江別、新札幌) 8
- 6/21 sat 研修会@白老 6
- 6/28 sat 「ゆうべあ」市民大学講座@ケアセンター(草薙対応)、メンバーは林道と周辺、フットパスの刈り払い 21
- 7/5 sat 小屋周り(午前)と柏原フットパス(午後)の刈り払い 6
- 7/12 sat 柏原と大島山林の刈り払い 4
- 7/19 sat ハスカップ摘み 30
- 7/21 mon 大島山林の刈り払い 1

**編集後記**

////////////////////

■NPOは設立5年目の夏を迎えています。勇払原野の夏はハスカップとともに過ぎていきます。作業に追われることのないよう予定を組んでもやはりこればかりは免れず。夏の作業は、冬とやや異なっていく盛りだくさんになるようです。

■コモンズの欧州調査、本州大学での事例報告、北大での講演2回、国際コモンズ学会出席など、グローバルなコモンズの位置づけも探ってきた当方の動きも、どうやらようやく地に落ち着くことができました。昨年からのコミュニティや街づくりグループなどとのやりとりもスタート。新ステージ到来かも。(草薙)

**お問い合わせ**

NPO 法人 苫東環境コモンズ 事務局

草薙 [kt-884-556@nifty.com](mailto:kt-884-556@nifty.com)

携帯 090-6999-2765